

学遊とやま



創造のよろこび



富山県民生涯学習カレッジ

ガイドブック

2026年版



シンボルマーク

互いに励ましあいながら学び、未来へ飛躍する姿を蝶のかたち(富山県のかたち)で表わしたものである。(デザイン・奥野達夫氏)

目 次

～ 出会い ふれあい 学びあい 学びのサロン 県民カレッジ ～

◆県民カレッジの5つの機能	1
1 学習情報を収集・提供し、学習相談に応じます	3
とやま学遊ネット	3
窓口でもお答えします 学習相談	4
2 多彩な学習機会を提供します	5
主催講座	6
委託講座	9
連携講座	9
3 映像で学習を支援します	10
富山県映像センター	10
4 学習交流や成果の発表を支援します	14
カレッジ単位の認定	14
発表・交流の機会	14
学習のお手伝いをするボランティア	14
教授するボランティア	15
仲間と活動する学習ボランティア	15
5 生涯学習についての調査・研究を行います	16
◆県民カレッジ地区センター	17
新川地区センター	17
富山地区センター	18
高岡地区センター	18
砺波地区センター	18
◆資料	
1 とやまの生涯学習のあゆみ	19
2 富山県映像センター(県民カレッジ映像センター)のあゆみ	21
3 テレビ放送講座過去の作品一覧	25
4 主な講座の受講者数の推移	26
5 連携講座 実施状況	26
6 県民カレッジのしくみ	27

出会い ふれあい 学びあい 学びのサロン 県民カレッジ



新川地区センター



富山地区センター

県民カレッジの5つの機能

1 学習情報を収集・提供し、学習相談に応じます

- ①インターネットによる生涯学習情報提供ネットワークシステム「とやま学遊ネット」で、講座・イベント・施設・映像・団体・講師などに関する情報を提供します。とやま学遊ネットの「マイページ会員」になると、関心ある講座の案内情報をメールで知らせる「お知らせ宅配便」やメールマガジンの配信を受けることができます。また希望に応じて、ネットから主催講座の受講申込みや視聴覚教材・機器の予約申込みなどのサービスを受けることができます。
- ②各地区センターは「地区センターだより」を発行し、地区センターで開催する講座など学習情報を広く県民にお知らせします。
- ③本部および4地区センターでは、個人からの学習相談や、団体や機関からの学習事業の企画・運営に関する相談に応じます。

2 多彩な学習機会を提供します

- ①各分野の著名な講師から、新しい知識や様々な情報を学ぶ「夏季講座」、「みらい創造講座」を開講します。
- ②県民から公募した県民教授(講師)と、塾生(受講者)によって自主的に運営される「自遊塾」を開講します。
- ③地区センターにおいて、地域の特色を活かした様々な学習講座や、高校の授業を生徒とともに学ぶ「共学講座」を開講します。また本部において、撮影や編集、著作権について学ぶ「映像センター講座」を開講します。
- ④富山県生涯学習団体協議会に「学習団体講座(教養講座・広域交流講座)」を委託し、県内4地区の生涯学習団体協議会が地域の特色を生かした講座を開講します。
- ⑤県民カレッジが、県内の市町村や生涯学習機関、大学・民間団体などと連携し、情報提供や単位認定を共通化する「連携講座」を実施します。



富山県は、県民一人一人が生涯をとおして生き生きと学び続け、あわせて自らの学習成果を地域に還元して社会貢献ができる人材を育てることで、未来への希望に満ちた社会の創造をめざしています。

富山県民生涯学習カレッジ(愛称 県民カレッジ)は、本県の生涯学習推進の中核的機関として、本部と新川・富山・高岡・砺波の4つの地区センターが連携しつつ、各地域において先導的な生涯学習事業を実施しています。



高岡地区センター
(ウイング・ウイング高岡7F)



砺波地区センター

3 映像で学習を支援します

- ①映像を活用した文化・学習活動を支援します。
- ②撮影・編集等の映像制作を、本部のスタジオや映像工房においてサポートします。
- ③学校や地域の活動で利用できる約 11,500 本の映像ソフトの貸し出しを行います。
- ④ふるさと富山に関する映像を、撮影・収集・保管・上映し、県民の財産として活用します。
- ⑤優秀映像の上映会(「わくわくシアター」等)を、本部・各地区センターにおいて開催し、映像の普及活動を推進します。

4 学習交流や成果の発表を支援します

- ①県内各地で活動する学習サークルの活動や交流を支援し、県民の学びの輪を広げます。
- ②学習歴や修得単位を記録する「県民カレッジカード」を発行し、受講者の学習活動を応援します。
- ③学習成果の発表・交流の場として、本部・各地区センターにおいて学遊祭(キャンパスフェスティバル)を開催します。
- ④生涯学習ボランティア活動を支援します。

5 生涯学習についての調査・研究を行います

- ①県民のニーズや地域の特色に応じた事業の実施や、新たな講座等の開発のため、生涯学習に関する調査・研究を実施します。

1 学習情報を収集・提供し、学習相談に応じます

とやま学遊ネット

インターネットによる生涯学習情報提供サービス

いつでも どこでも 自分スタイル！
ネットで広げる 学びの輪！

<https://www.tkc.pref.toyama.jp/>

■富山県生涯学習情報提供ネットワークシステム

「とやま学遊ネット」は、利用者にとっては学習情報を手軽にチェックできる場であり、情報登録者にとっては生涯学習情報の PR の場となるよう、直接書き込みができる場となっています。生涯学習のポータルサイトとしてご利用ください。

生涯学習情報「まるごと検索」をはじめ、「新着情報のメール配信」や「インターネットでの受講申込サービス」「県民カレッジ単位の確認」など、多機能なサービスを提供し、一人一人の学習活動を支援します。

■機関が直接書き込むホットな情報を手軽に

チェックできる機能(ポータルサイト)

■新着情報一覧表示

利用登録機関が掲載する「お知らせ」や「講座・イベント」などの情報をトップページに新着順で表示します。

■イベントカレンダー表示

カレンダーの日をクリックすると「講座・イベント」の開催状況を「週間カレンダー」「月間カレンダー」で一覧表示します。

■生涯学習情報データベース検索

より多くの情報から、キーワードや条件で検索

データベースには、約 14 万 6 千件の豊富な学習情報が登録されています。「学習講座」「イベント」「ビデオ・映画教材」「団体・サークル」「施設」「文化財」などの学習情報や「講師・指導者」「ボランティア」などの人材情報を検索することができます。「キーワード」「学習分野カテゴリー」「対象者」「開催市町村」等、目的別に検索することができます。

■富山県内のすべての公立公民館サイト

「とやま公民館学遊ネット」

県内公立公民館のホームページを開設し、「とやま学遊ネット」に登録されている情報や、公民館が登録した情報を公民館単位で絞り込んで検索・提供するなど、ふるさと学習の推進を図ります。

<https://www.tkc.pref.toyama.jp/kouminkan/>



■学ぶあなたに 学習活動支援サービス

マイページ会員サービス

「とやま学遊ネット」のマイページサービス登録を
すると、ID とパスワードで自分のページが表示されます。

お知らせ宅配便(電子メール配信サービス)

希望する分野や地域の学習講座・イベント情報を
週に1回、電子メールでお届けします。

連携講座申込(電子メール転送サービス)

県民カレッジ連携講座の受講申込みを、電子メール
で申込み先へ転送します。

マイページ会員特別サービス

とやま学遊ネット上で、所定の手続きをすると、特別
サービスを受けることができます。

主催講座インターネット申込

県民カレッジ主催講座の受講をインターネットで申
込んだり、県民カレッジで受講した講座の履歴や、取
得した県民カレッジ単位数を確認したりすることがで
きます。

視聴覚教材・機材の検索・予約・貸出状況の確認

富山県映像センター所蔵の学習用ビデオや映画
作品などの視聴覚教材や 16mm 映写機・スクリーン・
プロジェクター等の機材の検索・貸出予約、予約状
況・貸出状況を確認することができます。

■ふるさと学習の資料に

「とやまデジタル映像ライブラリー」

富山県映像センターが制作する映像教材・資料
や、県民から提供された映像など約 2,200 点をイン
ターネットで視聴することができます。

富山県を紹介する映像「文化財シリーズ・文化財クリップ」

とやまの文化遺産魅力発信事業実行委員会が制作
し、富山県映像センターが撮影・編集を行った、富山
県の文化財の映像 60 作品を公開しています。

●マイページ会員サービス●

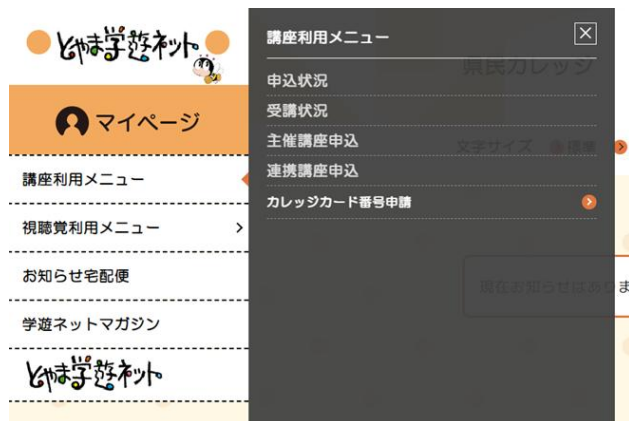
講座申込・受講・教材貸出したい人

お好みの分野の情報メールを毎週配信。さら
に利用申込の提出で、より充実したサービス
が受けられます。このサービスを利用される
には、利用者IDの取得が必要となります。

新規登録

ログイン

「マイページ会員サービス」



「マイページ会員特別サービス」



「とやまデジタル映像ライブラリー」

窓口でもお答えします 学習相談

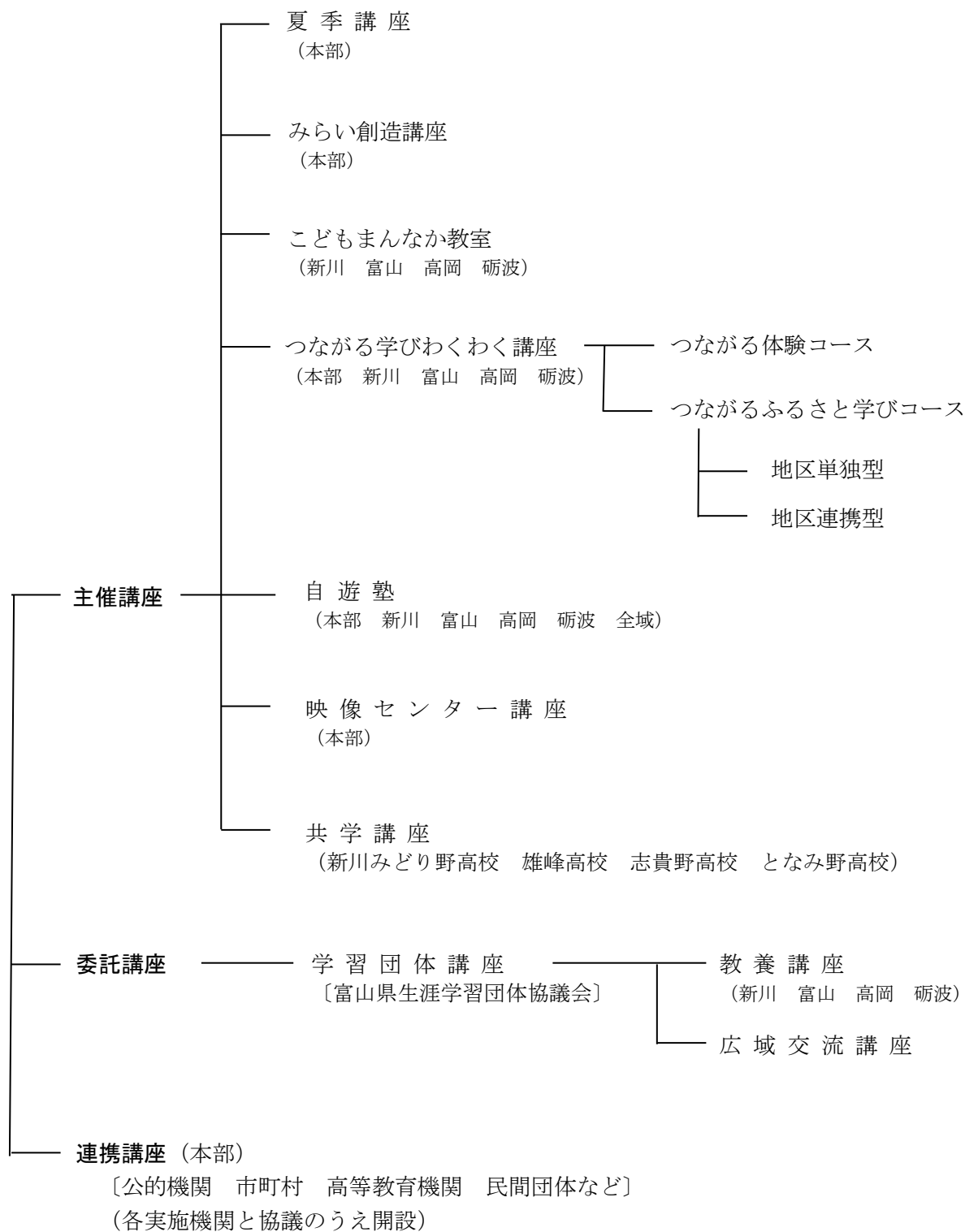
県民カレッジでは、生涯学習に関する学習相談を行
っています。「県内で実施されている学習講座を知りたい」「文化・学習イベント情報が知りたい」「学習の仲間
をつくりたい」「講演会や研修会の講師を探したい」「学
習成果を活かして講座を開きたい」など、気軽にご相談
ください。



2 多彩な学習機会を提供します

県民の多様な学習ニーズに応え、また多くの学習機会を確保するため、本部及び4地区センターで講座を開講するとともに、学習団体への講座の委託、高等教育機関との連携講座など幅広く講座を運営しています。

■県民カレッジ講座概要 (令和7年度の実績)



主催講座

■夏季講座

各分野の著名な講師から学ぶ、講演会形式の講座です。富山県教育文化会館で、年間1講座程度を開講します。

〈これまでの主な講師〉

- 竹村健一 河合隼雄 大岡信 ドナルド キーン 林真理子
井上ひさし 木村尚三郎 篠田正浩 辺見じゅん 山田太一
柳田邦男 渡辺昇一 齋藤 孝 三遊亭楽太郎
玄侑宗久 柳生 博 ロバート キャンベル 吉村作治
高木美保 里中満智子 荒川洋治 五木寛之 小和田哲男
名越康文 藤原正彦 毛利 衛 池上 彰 養老孟司 その他多数



講師 養老孟司 氏

■みらい創造講座(大型講座)

著名な講師を招き、講師の具体的な体験から、未来の豊かな人生のあり方を展望できる講演会形式の講座です。令和7年度は、明治大学教授の齋藤孝氏、落語家の春風亭昇吉氏を講師として招き、2講座を開催しました。



講師 齋藤孝 氏

○県民カレッジ叢書

著名講師などの講演記録集です。講演者の了解のもと、県内の学校や図書館などに配布するとともに雷鳥会会員が購読しています。昭和63年の県民カレッジ開学から118冊、その前身である「精神開発叢書」(昭和43年初刊)から通算すると284冊を発刊しています。

これらは、県民カレッジ本部及び各地区センター、県内図書館などで読むことができます。



カレッジ叢書 116・117・118号

■こどもまんなか教室(地区センター講座)

小学生とその家族が地域の魅力を体験しながら学ぶ機会を提供しています。新川・富山・高岡・砺波の4地区センターにおいて、特色あるテーマの講座を2回ずつ開講しました。



「めざせ！石ころ博士」(新川)

各地区の募集チラシ

(新川)

(富山)

(高岡)

(砺波)

(砺波)

■つながる学びわくわく講座

つながる体験コース

地域の魅力を新たに発見できる講座です。現地研修を取り入れたり、映像を視聴したりして、ふるさとの姿に触れることを重視しています。

土日や夏休みに実施しており、親子や祖父母と孫での参加も大歓迎です。計4回で構成され、4講座を開講しました。



「伝統と継承」(富山)



「人々の暮らしと寺社」(高岡)



「ふれよう！新川」(新川)



「ふるさとの食から学ぶ」(砺波)

■つながる学びわくわく講座

つながるふるさと学びコース(地区単独型)

地方創生の観点から、地域コミュニティの再生、地域の歴史と文化の見直し、自然保護などを学びます。グループ協議や意見発表会、作品発表等も取り入れ、交流型・発信型の講座としています。講座はオンラインで配信し、オンライン自宅受講も可能です。

1講座各2時間、計3回で構成され、新川・富山・高岡・砺波の各地区センターで計17講座を開講しました。



「そこが知りたい！新川の歴史」(新川)



「とやまの魅力」(富山)



「ふるさとゆかりの作家たち」(高岡)



「日本の文化を楽しもう」(砺波)

■つながる学びわくわく講座

つながるふるさと学びコース(地区連携型)

「ふるさととやま 歴史紀行」をテーマに、各地区センターが1回ずつ担当し、地域の魅力ある取り組みで活躍している人や組織の代表を講師として招く講座です。対面受講とオンライン会場受講とを組み合わせた形態で受講し、富山県全体を広い視野でとらえます。



(新川)



(富山)



(高岡)



(砺波)

■自遊塾

公募した県民教授がボランティア講師として、創造性を活かして運営する全国的にもユニークな講座です。平成7年に16講座から始まり、現在は約100の講座(令和7年度は86講座)を開講しています。教える方(県民教授)と学ぶ方(塾生)が交流することで学びを深める場にもなっています。

令和6年度には自遊塾開講 30 周年の節目の年を迎え、開講 30 周年記念式典や記念事業を開催しました。

○幅広い年代の受講者層

20代から80代までの受講者が集っています。

○県内市町村や民間教育活動に波及

高岡市の「たかおか学遊塾」、南砺市の「なんと市民学遊塾」をはじめ、県内各地に類似の講座も発足しました。また、自遊塾での活動をもとに民間教育活動も盛んになっています。



「絵本でころほぐし〜大人のための絵本 de セラピー」



「自遊塾開講 30 周年記念式典」

■映像センター講座

・動画撮影セミナー

映像撮影の基本や留意点を学び、映像作品制作の意欲を高めるとともに目的に合わせた効果的な撮影技術を学ぶことができます。



動画撮影セミナー

・スマートフォン、タブレット撮影・編集セミナー(3回開催)

スマートフォンにおける撮影・編集の基本を学び、作品づくりへの意欲を高めます。iPhone 編と Android 編に分けて開催しています。



スマートフォン撮影・編集セミナー

・「映像制作の現場から学ぶ」講座

地元テレビ局や地元で映像制作に関わる専門家の方々から、郷土に関わる映像作品制作について学びます。映像作品を視聴し、制作者から作品制作にかける思いや技術を学ぶことができます。



「映像制作の現場から学ぶ」講座

■共学講座

各地区センターに併設されている定時制・単位制高校の授業の一部を、社会人が高校生とともに学ぶことができる講座です。



(新川みどり野高校)



(雄峰高校)



(志貴野高校)



(となみ野高校)

委託講座

■学習団体講座

・教養講座

富山県生涯学習団体協議会に委託し、県内4地区の特性に基づいて、各地区8回ずつ講義を実施している講座で、特定の分野に偏ることなく、幅広いテーマで開講しています。

・広域交流講座

県内4地区の生涯学習団体協議会に加盟している団体が、お互いに交流を深めることを目的とした講座で、4地区で協力して年間1回実施しています。(令和7年度は砺波地区団体協議会が担当)



教養講座「里山の自然を楽しむ<富山市ファミリーパーク>」(富山)



広域交流講座(埴生護国八幡宮)

連携講座

県民に多様な学習メニューを提供するため、全国に先駆けて昭和63年の県民カレッジ開学と同時に開始した学習サービスです。広報や単位などを共通とし、県内およそ20程度の公的機関・市町村・高等教育機関、民間団体などで、年間約100～150の講座が行われています。

連携講座の開設要件は、総時間5時間以上、定員15人以上の講座であることです。

連携講座の申請は、本部で、随時、受け付けます。

連携講座を開設することで、広く全県から受講者を募集することができます。



連携講座の案内の例

3 映像で学習を支援します

富山県映像センター

「映像で学ぶ」「映像をつくる」「映像をいかす」「映像をあつめる」の4つの働きのもと、「交流・学習・資料・研究」のセンター機能を活かして、生涯学習活動を支援します。

学ぶ

■ハイビジョン学習室の活用

ハイビジョン学習室(定員80名)で、140インチの迫力ある画面を利用し、視聴覚機器を活用した学習を企画することができます。

※5名以上の学習団体で、教育的・文化的な目的であれば無料で利用することができます。

■おやこシアターの開催

富山県映像センターが所蔵する貴重な映像資料や優れた映像作品を、親子で楽しみ、親しんでもらうために、ハイビジョン学習室で年2回(7・12月)開催しています。ふるさと富山の貴重な映像や劇映画、アニメーション等をお楽しみください。



おやこシアター

■わくわくシアター

毎月第2土曜日2回・第3水曜日1回の計3回、富山の懐かしい映像や文化に関連する映像など幅広いジャンルの映像を、ハイビジョン学習室で上映しています。平成23年度から各地区センターにおいても開催しています。

※学遊祭(10月)でもお薦め映像作品を上映しています。また、毎年3月には、「とやま映像祭」が開催されます(予定)。県内放送機関等と連携し、郷土富山に関する映像を多数上映します。



わくわくシアター

■ジュニア映像制作教室・ジュニアナレーション教室

中・高校生を対象に、映像作品制作に必要なシナリオの書き方や撮影・編集、ナレーションの基本を学び、学習や学校行事等に活用できる技術の習得を目指します。(富山県視聴覚教育協議会と連携実施)



ジュニア映像制作教室

■16ミリ映写機技術認定講習会(映像センター講座)

16ミリ映写機を学校や公民館活動等での映写会で、正しく操作して活用するための16ミリ映写機技術認定講習会を開催しています。令和7年度から映像センター講座の1つとして、受講者は県民カレッジの単位が認定されます。

※講習希望があればご相談ください。



16ミリ映写機技術認定講習会

िकास

■映像相談

映像センターでは、県民の皆さんからのビデオ撮影や映像編集・活用などの相談に無料で応じています。また、映像関連情報の収集・提供も行っています。



■豊富な教材の閲覧・貸出

DVD ビデオや VHS、16 ミリフィルム等の利用相談や貸し出しを行い、皆さんの文化・学習活動を支援しています。

- ・教材は、「とやま学遊ネット」から、検索・予約することができます。
- ・貸し出しはすべて無料で、1回につき5本まで可能です。貸し出し期間は1週間以内です。



貸出ソフト数一覧

16ミリフィルム	約2,100本	VHS	約6,000本
CD,DVD, Blu-ray	約3,400本	ハイビジョンソフト	約50本

※令和7年3月現在

貸出機器一覧

電話での利用相談や予約もOKです。利用はすべて無料で、貸し出し期間は1回につき1週間以内です。

- ・液晶プロジェクター
- ・スクリーン
- ・DVDプレーヤー
- ・BDプレーヤー
- ・OHP
- ・スライド映写機
- ・VHSビデオデッキ
- ・外部スピーカー
- ・CDラジカセ
- ・実物投影機(OHC)
- ・16ミリ映写機

※機器の貸し出しは、各種団体を対象に行っていますが、特定の政治・宗教の宣伝や、営利目的・企業活動としての利用はお断りしています。

■ふるさとブースでの上映・視聴

ふるさと富山の四季折々の自然や地域の行事等を「ふるさとブース」(1階ロビー大型モニター1基、3階モニター2基)で紹介しています。

また、3階 館内視聴コーナーでは、興味・関心のある映像作品をその場で視聴することもできます。

※ ふるさとブースの上映内容は、定期的に更新しています。



館内視聴コーナー(3階)で視聴できる主な作品 (令和8年3月現在)

分類	作品例
郷土学習教材	「技と心をつないで 越中福岡の菅笠」「昆布ロード 富山人のあゆみ」他
映像でつづる思いでの富山	県ニュース(昭和 27～28 年放映)、県民提供の昭和の映像「三八豪雪」他
とやま映像コンクール入賞作品	自作視聴覚部門 「富山県砺波地方の昔の米作り」「ステラ ～星の軌跡～」 「子供達よ先人から学ぼう」他
	ふるさと部門 「夏の予感」「べるもんた走る 越中万葉を乗せて」「心にキザム」 他
県内各地の映像	「おわら風の盆」「雷鳥の四季」「井波彫刻」「高岡銅器」「むぎや祭」「国民文化祭」 他
その他	GHQ提供「ナトク映画」シリーズ 「こんにちは富山県です」「テレビ放送講座」 他

■残したいとやまの映像、旬の映像

県内各地で撮影した「旬の富山」や県民から寄贈いただいた貴重な映像を、「ふるさとブース」での視聴はもちろん、平成17年度からはDVDに編集して、県民の皆さんへも貸し出しています。



■16ミリ映写機点検

市町村や機関などが所有する16ミリ映写機を点検しています。点検の要望があれば、随時対応しています。



つくる

■映像工房の利用

映像工房は、デジタル編集機6台を備えた映像編集室です。メディア指導員や技師が、制作の相談に応じたり、サポートしたりします。教育的・文化的な目的での映像編集に、無料で利用することができます。(ビデオテープのデジタル保存支援も行っています。)

■映像ボランティア

映像ボランティアを随時募集しています。県民の生涯学習推進のため、地域の伝統行事や活動の記録映像の提供等、得意な分野で協力していただきます。

■郷土学習教材の制作

映像センターでは、ふるさと富山の自然や歴史・文化に関する学習に活用できる映像教材を制作し、県内の教育関係機関に配布するとともに、とやまデジタル映像ライブラリーで配信しています。



あつめる

■映像でつづる思いでの富山

ふるさと富山の昔懐かしい映像を収集、公開しています。今では見ることのできない「町並み」「暮らしの様子」「伝統行事」等が撮影された映像を、富山県の文化的な財産として残していきます。

県民の皆さんから提供いただいた、それぞれの地域に残っているふるさと富山を撮影したビデオや8ミリフィルム、16ミリフィルム等は、ビデオやDVDに変換してお渡ししています。また、再編集を行ってDVD-Videoとして広く貸し出しを行っています。

ご自宅、倉庫などに映像資料が眠っていませんか？

映像資料募集！

富山県映像センターでは、富山県内で撮影された風景、伝統行事などの映像資料を集めています。そして、集めた映像資料は、DVD等にまとめて、無償貸し出しや無償上映を行っています。

もし、ご自宅に該当の映像資料がありましたら、当センターの映像資料収集にご協力ください。映像資料をお寄せいただいた方には、採用された映像作品DVDを1枚程度いただきます。また、県民カレッジ学遊祭やとやま映像祭の会場でも上映も行います。

収集映像の例

- ・富山の祭りや伝統行事の撮影
- ・とやま県民会館(旧) 富山の歴史の映像
- ・地中で行われている祭り、伝統行事の撮影
- ・雪山県内で撮影された伝統行事

収集対象メディア

- ・DVテープ、miniDVテープ
- ・VHSテープ
- ・8ミリビデオ
- ・8ミリフィルム

収集条件

- ・個人で撮影されたものであること
- ・撮影者が特定できるものであること
- ・著作権等の権利関係が不明なものであること
- ・無償で提供できるものであること
- ・被害者の個人情報が含まれていないものであること
- ・複製済みのものでも可

【富山県映像センター】
富山県映像センター
〒930-0098
富山県富山市1-10-1 富山県総合センター
TEL 076-141-8156
FAX 076-141-0894

■富山県視聴覚教育研修会

富山県視聴覚教育協議会及び富山県教育委員会生涯学習・文化財課と連携し、実施しています。また、当研修会において郷土学習教材やとやまデジタル映像ライブラリー等の活用について紹介しています。



■とやまデジタル映像ライブラリー

<https://www.tkc.pref.toyama.jp/video/>

ふるさと富山に関する映像が約2,200点登録されています。これらの映像は、インターネットを通して、いつでもどこでも簡単に視聴することができます。



昭和 38 年豪雪の記録



富山まつり～時代風俗行列～

■『きょう土のすがた』対応地域映像クリップ集(令和6年度～)

「とやまデジタル映像ライブラリー」では、令和6年度より、小学校社会科副読本『きょう土のすがた』の学習内容に対応した映像素材を特集してシリーズ化し、下記のようなものを配信しています。(内容は順次追加予定)

- 「きれいな水道水を守る【松島浄水場】」
- 「環境を守る下水道【二上浄化センター】」
- 「くらしをまもる【射水消防署】」
- 「海とともに【栽培漁業センター】」
- 「薬の工場【池田模範堂】」
- 「スーパーマーケット【アルビス羽根店】」

〔映像資料収蔵例(抜粋)〕

□映像でつづる思いでの富山

戦前の富山市の街並み、昭和 38 年豪雪の記録、みなとまつり(昭和 31 年)、富山新港開港式(昭和 43 年)、神通川増水(昭和 36 年)、富山市産業大博覧会、カインヨウは生きている(昭和 62 年) 他

□とやま映像コンクール入賞作品

「富山県砺波地方の昔の米作り」、「ステラ ～星の軌跡～」、「一粒の米・一本のワラから」、「夏の予感」、「べるもんた走る 越中万葉を乗せて」、「心にキザム」 他

□郷土学習教材(映像センター制作)

「立山シリーズ」(文部大臣賞)、「富山のくすりやです」(文部大臣賞)、「ブリを待つ海」(文部大臣賞)、「水の王国富山」(文部大臣賞)、「立山賛歌」(グランプリ)、「よみがえる勝興寺」(総務大臣賞)、「布橋大灌頂」(グランプリ)、「石黒信由」(総務大臣賞)、「越中文学散歩」(グランプリ)、「とやまの曳」(グランプリ)、「とやまの川の物語」(グランプリ)、「昆布ロード」(文部科学大臣賞) 他

□旬の映像(映像センター制作)

富山の四季や伝統的行事、人々のくらしなどを映像化したものなど約 500 作品。

□とやまの文化遺産

「世界に誇るとやまの文化財」、「とやまの祭り・花山型の曳山」、「とやまの祭り・提灯山」、「瑞龍寺」
「常願寺川砂防施設」、「旧富山県立農学校本館」、「勝興寺」 他

□GHQ提供映像(民主化教育のための 16 mmフィルム)

戦後、GHQが占領政策の一環であるCIE映画計画に基づき、民主化教育と荒廃した日本人の娯楽のために日本に持ち込まれたフィルム映画。当時、県内で上映された作品のうち、現存している 31 作品をDVD化。また、貴重な当時のフィルム実物や関連資料も展示・閲覧可。

4 学習交流や成果の発表を支援します

カレッジ単位の認定

■単位認定制度

主催講座・委託講座・連携講座は、認定基準を設けて、講座の時間数により単位認定を行います。

■認定証と称号

各講座で修得された単位数の累計が100単位を超えた方には、毎年開かれる「県民カレッジ学遊祭」で認定証をお渡しします。特に、1,000単位以上の方には、次のような称号を贈ります。

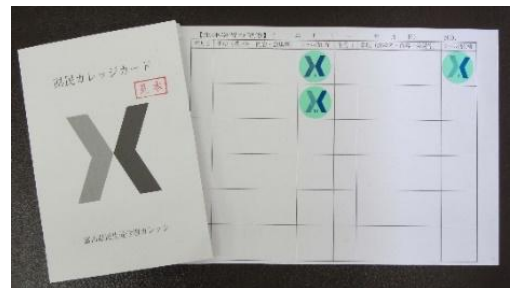
単 位	称 号
1,000 単位取得者	県民カレッジアドバイザー
2,000 単位取得者	県民カレッジマスター
3,000 単位取得者	県民カレッジドクター



単位認定証授与式

■県民カレッジカード

学習履歴や修得単位を記録するカードを発行し、受講者の学習活動を応援します。講座を修了された方が修了シールをカードに貼り記録していくことで、学習のあゆみがわかります。



県民カレッジカード

発表・交流の機会

■県民カレッジ学遊祭

講座受講者・学習団体・県民が集い、学習交流や情報交換などをおとして、生涯学習に対する意識の高揚を図ります。

当日は、式典・ステージ発表・展示・実演・特別講座・映像センター所蔵作品上映会等を開催します。



学遊祭 ステージ発表の様子

学習のお手伝いをするボランティア

学習の成果をボランティア活動に活かすなど、学習ボランティアの活動の場を広げています。

■カレッジメイト

本部や地区の各講座の運営の補助や広報紙制作など、県民の学習環境を整えるお手伝いをします。

■映像ボランティア

とやまの風土・情景やイベントなどを県民の共有財産として未来に残すために映像として記録したり、映像制作に関する学習のサポートをしたりします。



イベント運営補助

教授するボランティア

県民自らが講座を企画し教えることで、多様な学習機会が大きく広がっています。教えることはその人にとっても最高の学習活動であり、ともに学びあう交流の場となっています。

■自遊塾県民教授

県民教授(講師)が、自ら学んできたテーマに基づいて講座を開き、塾生(受講者)とお互いの学習意欲に共感しながら、交流することで学びを深めます。県民教授会などの自主活動もあります。

■はつらつ学びのリーダー

ボランティア指導者としての基本的な知識と技能などを習得した県民が、各種講座の講師や団体・サークルのリーダーとして地域で活動しています。

仲間と活動する学習ボランティア

生涯学習を志す仲間とともに学んでいる学習団体との連携を図り、学習活動を振興しています。

■富山県生涯学習団体協議会

富山県内で自発的に学習活動を続けているサークル・団体で構成されています。

相互の連携を深めるとともに、加入団体の活性化と地域の生涯学習の振興を図るために、昭和63年に結成されました。

加入団体 82団体 (2,829人)

事業

- ・学習団体の交流活動の促進(交流研修会の実施)
- ・教養講座、広域交流講座の開催
- ・機関誌「生涯学習の仲間たち」の発行
- ・地区ごとに広報紙を発行
- ・優良団体の表彰

入会のおすすめ

1. サークルをこえて共同することで、郷土への愛着や地域の連帯感などを育みます。
2. 教養講座や交流研修会などによって、新たな視点から学ぶことができます。
3. サークル活動や活動の成果を、地区や県内に広く紹介することができます。
4. 県民カレッジをはじめ、県内の生涯学習機関からの学習情報をいち早く得ることができます。

生涯学習の仲間たち

第37集



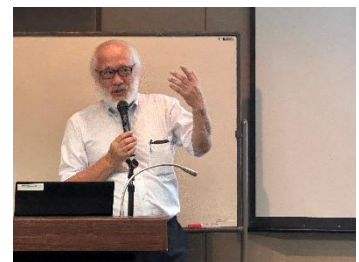
■県民カレッジ友の会「雷鳥会」

共に学び合う生涯学習の輪を広めるため、さまざまな活動を続け、親睦を深めている学習団体です。会員になると

- ・会報「雷鳥」をお届けします(年3回)。
- ・「県民カレッジ叢書」を贈呈します。
- ・県民カレッジ夏季講座を無料で受講することができます。
- ・美術鑑賞会や見学旅行会等の文化事業に参加することができます。
- ・講座運営の支援などのボランティア活動に参加することができます。

事業例

- ・日帰りセミナー
- ・県民カレッジ学遊祭 展示・発表など
- ・県民カレッジ連携「21世紀講座」の開催
- ・トーク&トークの開催
- ・県民カレッジ叢書の普及活動
- ・県民カレッジ事業の支援



21世紀講座



トーク&トーク

5 生涯学習についての調査・研究を行います

県の生涯学習の中核的機関として、県民のニーズや地域の特性に応じた事業を充実し、開発するため、調査・研究を進めます。

年 度	調 査 名 等
昭和63年(1988)	・生涯学習に関する意識調査
〃	・地域通信ネットワークによる教育・学習活動の援助に関する具体的・実証的研究 — 富山県生涯学習情報提供システム基本計画 —
平成元年(1989)	・学習機会に関する調査研究
〃	・地域通信ネットワークによる教育・学習活動の援助に関する具体的・実証的研究 — 富山県生涯学習情報提供システム実施計画 —
〃	・富山県生涯学習情報提供ネットワークシステムの概要
平成2年(1990)	・生涯学習団体・サークルに関する調査研究
平成3年(1991)	・「富山文庫」に関する調査研究
〃	・公開端末設置に関する調査研究
〃	・生涯学習情報提供ネットワークシステムと視聴覚関連情報の提供
〃	・生涯学習関連事業の連携に関する調査報告書
平成4年(1992)	・企業と生涯学習に関する調査報告書 — 生涯学習振興に向けた連携のあり方について —
〃	・ニューメディア教育利用開発研究事業報告書
平成5年(1993)	・マルチメディア等の教育利用に関する開発研究
平成6年(1994)	・マルチメディア等の教育利用に関する開発研究 — マルチメディア教材「弥陀ヶ原探訪」の開発 —
〃	・参画・創造型生涯学習の民間組織と学習ボランティアに関する調査研究報告書
平成9年(1997)	・生涯学習についての県民の意識調査
平成11年(1999)	・21世紀の生涯学習に向けて ～ 全国の趨勢と本県の状況 ～
平成12年(2000)	・県民カレッジにおける単位制度 学習成果の新たな評価と活用の方式を求めて
平成13年(2001)	・県民カレッジの今後の在り方
平成14年(2002)	・学習動向と学習支援のあり方 ～ 各種調査を基に ～
平成15年(2003)	・生涯学習ボランティアの振興について
平成16年(2004)	・ボランティア活動の実態把握とその評価について
平成17年(2005)	・生涯学習情報提供ネットワークシステムに関する調査
平成18年(2006)	・学習成果の活用と地域社会の活性化について
平成19年(2007)	・はつらつ学びのリーダー育成事業について(VOL1)
平成20年(2008)	・はつらつ学びのリーダー育成事業について(VOL2)
平成21年(2009)	・生涯学習に関する県民の意識と実態調査(データ収集)
平成22年(2010)	・生涯学習に関する県民の意識と実態調査(分析)
平成23年(2011)	・県内の生涯学習機会提供の実態と県民カレッジの役割について(資料作成)
平成24年(2012)	・県内の生涯学習機会提供の実態と県民カレッジの役割について(分析)
平成25年(2013)	・「とやま公民館学遊ネット」の利用実態に関する調査(調査内容検討・データ収集)
平成26年(2014)	・「とやま公民館学遊ネット」の利用実態に関する調査(データ分析)
平成27年(2015)	・「とやま公民館学遊ネット」の利用実態に関する調査(データ分析・まとめ)
平成28年(2016)	・「富山県民の生涯学習の現状とニーズに関する調査」
平成29年(2017)	・「富山県民の生涯学習の現状とニーズに関する調査」(アンケート分析・調査)
平成30年(2018)	・「富山県民の生涯学習の現状とニーズに関する調査」(アンケート分析・まとめ)
令和元年(2019)	・「生涯学習に取り組んでいる県民の意識と実態調査」(アンケート分析・調査)
令和2年(2020)	・「生涯学習情報提供ネットワークシステムに関する調査」
令和3年(2021)	・「オンライン講座における県民の意識と実態調査」(アンケート分析・調査)
令和4年(2022)	・「とやま学遊ネット」の構築による利用実態の変化に関する調査(アンケート分析・調査)
令和5年(2023)	・「とやま学遊ネット」の構築による利用実態の変化に関する調査2(アンケート分析・調査)
令和6年(2024)	・「県民カレッジ自遊塾」塾生へのアンケート結果に関する調査(アンケート分析・調査)
令和7年(2025)	・「県民カレッジ自遊塾」塾生へのアンケート結果に関する調査2(アンケート分析・調査)

県民カレッジ地区センター

広域学習圏の拠点として、県内の新川・富山・高岡・砺波の4カ所に開設しています。
定時制高校に併設され、社会人が高校生とともに学ぶこともできる施設です。
学習機会の提供のほか、学習相談などさまざまな生涯学習の支援を行っています。

講座の提供

- つながる学びわくわく講座** 体験と学びを通した「つながる楽しさ」を提供する講座を開講しています。オンライン配信も行っています。
- こどもまんなか教室** 小学生とその家族が地域の魅力を体験しながら学ぶ機会を提供しています。
- 共学講座** 高校の授業の一部を社会人向けに提供し、高校生と共に学びます(科目履修制度)。通年・前期・後期などの履修形態があります。
- その他** 学習団体講座(教養講座・広域交流講座)、自遊塾などを開講しています。

学習の支援

- 学習情報の提供** 「とやま学遊ネット」の検索・情報提供サービスや「地区センターだより」の刊行などとおして、県民に学習情報を届けています。
- 学習活動の場の提供** 学習サロンや学習室を県民に開放しています。ビデオブースでは富山県映像センターの映像資料を視聴することができます。
- 学習相談窓口の開設** 講座の受講や講師、ボランティアに関することなど、生涯学習についての相談に応じています。
- 自主的学習活動支援** 「キャンパスフェスティバル(学遊祭)」やボランティア活動をとおして、学習成果の発表や学習交流を推進しています。

広域学習圏の学習振興

広域市町村・関係機関・社会教育団体との生涯学習に関わる連絡調整のほか、大学や諸機関・企業の講座と連携して単位を与える連携講座、関係機関が学習情報を交換する広域学習サービス連絡会議などを主管します。

新川地区センター

所在地 〒937-0011 魚津市木下新144
県立新川みどり野高等学校内
TEL. 0765-22-4001
FAX. 0765-22-0901

開設 平成13年(2001年)

利用時間 月、水～土曜 9:00～19:00
日曜 9:00～17:00

休所日 火曜、祝日、振替休日、年末年始



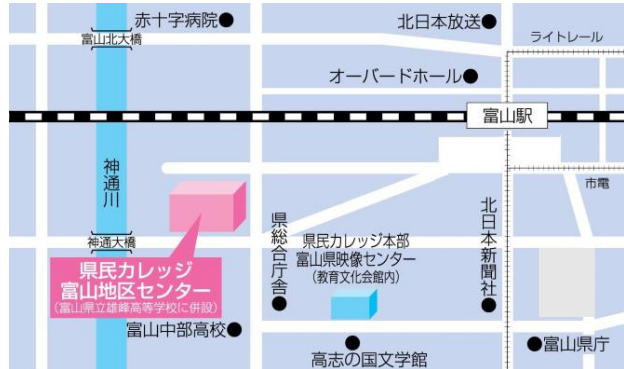
富山地区センター

所在地 〒930-0009 富山市神通町2丁目12-20
 県立雄峰高等学校併設
 TEL. 076-441-0301
 FAX. 076-441-0328

開設 平成25年(2013年)

利用時間 月、水～土曜 9:00～19:00
 日曜 9:00～17:00

休所日 火曜、祝日、振替休日、年末年始



高岡地区センター

所在地 〒933-0023 高岡市末広町1-7
 ウイング・ウイング高岡7階
 (県立志貴野高等学校併設)
 TEL. 0766-22-5787
 FAX. 0766-22-5872

開設 平成16年(2004年)

利用時間 月、水～土曜 9:00～19:00
 日曜 9:00～17:00

休所日 火曜、祝日、振替休日、年末年始



砺波地区センター

所在地 〒932-0114
 小矢部市清水95-1
 県立となみ野高等学校内
 TEL. 0766-61-2020
 FAX. 0766-61-2008

開設 平成13年 (2001年)

利用時間 月、水～土曜 9:00～19:00
 日曜 9:00～17:00

休所日 火曜、祝日、振替休日、年末年始



資料1 とやまの生涯学習のあゆみ

年度	行政機関〔長〕	実施機関〔長〕	事業等
昭和43 (1968)	精神開発室 〔秋山 嘉久〕		精神開発室創設、各種研修会・文化講演会、「精神開発叢書」を発刊。
昭和45	〔屋敷 平州〕		精神開発研究委員の講演・指導助言活動を開始。
昭和46	〔亀谷 一〕		情操教育講演会を開始。
昭和47	〔佐賀 宗久〕		「精神開発新書」を発刊。
昭和48	〔川人 貞現〕		県総合開発審議会の答申により「生涯教育行政及び県民大学校に関する構想」を建議。
昭和49 (1974)	振興課 〔針山 良知〕		精神開発室を廃し、振興課を設置。 県民大学校「夏季講座」を開始。 県民大学校友の会「雷鳥会」が発足。 「精神開発新書」を「生涯教育新書」に改称。
昭和50			県民大学校「移動講座」「高校開放講座」「放送通信講座」を開始。
昭和51 (1976)	生涯教育班 〔高峯 正岡〕		機構改革により、振興課を廃止し、生涯教育班を設置。
昭和52 (1977)	〔雲井 利彦〕		県民大学校 地方講座を開始。 高校卒業生全員に「記念誌」を配布。
昭和53	〔吉崎 四郎〕		県民大学校「専門講座」を開始。
昭和54			県民大学校 移動巡回講座を開始。
昭和55 (1980)			生涯学習リーダーバンクを設置。 生涯学習グループ調査を実施。
昭和56 (1981)	生涯教育室 〔吉崎 四郎〕	生涯学習センター 〔青柳 正美〕	生涯教育推進本部事務局を知事公室より移管。 生涯教育推進協議会を設置。 「生涯教育の基本姿勢について」を協議。 生涯教育推進に関する企画・調査を実施。 生涯学習相談「明日をひらく窓」を開設。 広報誌「とやまの生涯学習」を発刊。
昭和57 (1982)			「明日を拓く生涯学習」を発刊。 県民大学校 精神開発講座を開始。
昭和58 (1983)	〔八木 近直〕	〔吉崎 四郎〕	県生涯教育推進協議会「生涯学習体系について」を協議。 置県100年記念「県民のひろば」を発刊。 創造性開発講座を開始。
昭和59 (1984)			県民大学校「春季・秋季講座」を開始。 「生涯学習ガイドブック」を発刊。
昭和60	〔青塚 与市〕		県生涯教育推進協議会「生涯学習体系の整備について」を協議。
昭和62 (1987)			県生涯教育推進協議会「県民総合大学校(仮称)構想の具体化について」を協議。 県民総合大学校(仮称)開校準備室を開設。
昭和63 (1988)	生涯学習室 〔岡田 久良〕	県民カレッジ 〔吉崎 四郎〕	生涯教育室と社会教育課を統合、生涯学習室と改称。 生涯学習センターを廃止し、富山県生涯学習カレッジを開学(10月)。 「精神開発叢書」「生涯教育新書」を「県民カレッジ叢書」に改称。 放送事業、専門コースを開始。 富山県生涯学習団体協議会が発足。
平成元 (1989)	〔竹内 伸一〕		県生涯教育推進協議会「地域における生涯学習の振興について」を協議。 第1回県民カレッジフェスティバルを開催(10月)。
平成2			「富山県生涯学習情報提供ネットワークシステム(愛称:とやま学遊ネット)」が開通(10月)。
平成3 (1991)	〔細呂木六良〕		県生涯学習審議会「生涯学習の振興のための基本構想の策定について」を協議。 富山地域リカレント教育推進協議会事務局を設置(2月)。
平成4			富山地域リカレント教育推進協議会によるリカレント学習コースを開設。
平成5 (1993)	〔飯田 宗映〕	〔竹内 伸一〕	県民カレッジ映像センターを開設。 ハイビジョン学習室等完成(6月)、学習サロンを新設。 「とやま学遊ネット情報」を発刊、海外セミナーを実施。
平成6			第6回全国生涯学習フェスティバル(まなびピアとやま'94)を開催(10月)。
平成7 (1995)	〔吉川 實〕	〔飯田 宗映〕	リカレント教育を県事業として開始。 県民カレッジ「自遊塾」を開始、ハイビジョンフェスティバルを開始。 第1回富山県生涯学習フェスティバルを開催(魚津市)。
平成8 (1996)	〔金井 進〕	〔吉枝 信朗〕	人間探究講座にコース制を導入。 「とやま学遊ネット」の一般開放と24時間稼働を開始(3月)。
平成9		〔山口 松蔵〕	インターネットで「とやま学遊ネット」の情報検索利用を開始(5月)。
平成10 (1998)	〔大畑 年〕	10月 〔吉枝 信朗〕	県生涯学習審議会の提言により「とやま生涯学習ボランティア活動推進プラン」を策定(10月)。 広域キャンパス講座を開始、「生涯学習メニューブック」を発行(～17年)。 県民カレッジ開学10周年記念式典を挙行(10月)。 インターネット方式での講師・指導者情報の提供および雑誌検索を開始(3月)。
平成11 (1999)		〔飯田 宗映〕	インターネット市民塾実証実験で在宅講座9講座を開設(8月)。 映像センター課内に、富山県映像センターを設立(1月)。 生涯学習ボランティアサミットを開催(～13年)。
平成12 (2000)	〔久津 武司〕	〔飯田 宗映〕	富山県生涯学習カレッジ新川地区センター及び砺波地区センターを開設(1月)。 県生涯学習審議会の答申に基づき「富山県生涯学習新世紀構想～学びあいビジョン～」を策定(3月)。

年度	行政機関〔長〕	実施機関〔長〕	事業等
平成13	〔久津 武司〕	〔飯田 宗映〕	新川地区センターと砺波地区センターで事業を開始。
平成14	〔中田 正幸〕	〔橋本 清〕	富山インターネット市民塾推進協議会を設立(5月)。
平成15 (2003)		〔村井 和〕	新「とやま学遊ネット」を稼働(4月)。 全国視聴覚教育連盟創立50周年記念特別功労団体(全国5団体の1つに選出)表彰を受賞。 高岡地区センターを開設(1月)。
平成16 (2004)		10月 〔結城 正斉〕	高岡地区センター事業を開始。 県民カレッジ「YUHO講座」を開始。
平成17 (2005)	〔中西 彰〕	〔中川 松枝〕	県生涯学習審議会で県民カレッジ事業の今後のあり方を審議(10月)。 県生涯学習団体協議会、雷鳥会、自遊塾代表者による生涯学習団体関係者懇談会を開催(1月)。 行政改革推進会議が講座内容等の抜本的見直しと、運営におけるNPOやボランティアとの協働を提言(1月)。
平成18 (2006)	生涯学習・文化財室 〔中西 彰〕		生涯教育室を生涯学習・文化財室と改称。 「布橋大灌頂～立山信仰と女人救済儀式～」が第4回全国地域映像コンクールで「グランプリ」を受賞(12月)。 県民カレッジあり方検討会で4回の検討を経て、「新たな生涯学習時代に対応した県民カレッジのあり方」を報告(3月)。
平成19	〔藤縄 太郎〕	〔中西 彰〕	「はつらつ学びのリーダー育成事業(2期3カ年計画)」を開始(6月)。
平成20 (2008)	〔山本なつみ〕		県民カレッジ20周年記念フェスティバルを開催(8月)。 CMS導入により、「とやま学遊ネット」をポータルサイト化(3月)。
平成21		〔結城 正斉〕	「とやまデジタル映像ライブラリーシステム」を更新(3月)。
平成22 (2010)	〔木下 晶〕	〔加藤 敏久〕	「ふるさと学びあい推進事業」を開始。 「越中文学散歩-ふるさとの作家が綴るとやま-」が第8回全国地域映像コンクール「グランプリ」を受賞。
平成23 (2011)	〔平野 富佐〕		「とやま公民館学遊ネット」を開設、文化財情報を追加。 「ふるさと映像制作支援講座」を開催。 「越中を拓く-椎名道三と十二貫野用水-」が第9回全国地域映像コンクール「審査員特別賞」を受賞。
平成24 (2012)			「高志の国文学探究講座」を開設。 富山地区センターを開設(1月)。
平成25 (2013)	〔木村 博明〕	〔荒井 克博〕	富山地区センター事業を開始。 「高志の国文学入門講座」・「高志の国文学専門講座」を開設、テレビ会議システムにより、「高志の国文学入門講座」を各会場へ配信。 「棟方志功と富山の人々」が第11回全国地域映像コンクール「奨励賞」を受賞。
平成26 (2014)			「ふるさと富山の魅力探究講座」を開設。 「富山県誕生 分県の父 米澤紋三郎の志」が第12回全国地域映像コンクール「審査員特別賞」を受賞。
平成27 (2015)	〔齊藤 幸江〕	〔山崎 弘一〕	「とやまの薬が生んだ信頼の絆 とやま売薬物語」が第13回全国地域映像コンクール「優秀賞」を受賞。
平成28			「とやま『鉄道』物語」が第14回全国地域映像コンクール「理事長賞」を受賞。
平成29 (2017)	〔菊池 政則〕		「高志の国まなび師範養成塾講座」を開設。 「富山湾 美しい湾を未来につなぐ」が第15回全国地域映像コンクール「優秀賞」を受賞。
平成30 (2018)			「地域課題学び活かし講座」を開設。 「県民カレッジ30周年記念式典・特別講座」を開催(10月)。 「とやまの曳山 “世界の宝”を守り続ける」が第16回全国地域映像コンクール「グランプリ」を受賞。
令和元 (平成31) (2019)			「人生100年時代 生き方フォーラム」を開催(8月)。 「人生100年時代 特別講座」を開設。 「とやまの川の物語」が第17回全国地域映像コンクール「グランプリ」を受賞。
令和2 (2020)	〔吉田 学〕	〔菊池 政則〕	「人生100年時代 生き方講座」を開設。 新しく「カレッジ通信」「おうちでシリーズ」を開設し、配信開始。 「新時代を拓く～藤井能三の近代遠望～」が第18回全国地域映像コンクール「審査員特別賞」を受賞。
令和3 (2021)			「とやま学遊ネット」を全面改良し、スマートフォン等にも対応し機能性を高めた新「とやま学遊ネット」を稼働(3月)。 「とやま新時代講座」を開設。 講座のオンライン自宅配信を正式に開始。
令和4 (2022)			「つながる学びわくわく講座」を開設。 スタジオをリニューアルし、e-ラーニング研修支援事業開始。 「水の王国とやま『命をつなぐ水』を未来へ」が令和4年度全国自作視聴覚教材コンクール「優秀賞」を受賞。
令和5 (2023)	〔辻 ゆかり〕	〔本江 孝一〕	「ウェルビーイング実現講座」を開設。 「とやまの橋～人々の願い・記憶のメモリアル～」が令和5年度全国自作視聴覚教材コンクール「優秀賞」を受賞。
令和6 (2024)			「自遊塾開講30周年記念事業」を開催(5月・11月)。 「越中横綱伝 梅ヶ谷と太刀山」が令和6年度全国自作視聴覚教材コンクール「優秀賞」を受賞。 「雷鳥会創立50周年記念事業」を開催(10月)。
令和7 (2025)	生涯学習・文化財課 〔前川 秋人〕		生涯学習・文化座室を生涯学習・文化財課と改称。 「みらい創造講座」、「こどもまんなか教室」を開設。 「昆布ロード 富山人のあゆみ」が令和7年度全国自作視聴覚教材コンクール「最優秀賞」【文部科学大臣賞】を受賞。

資料2 富山県映像センター(県民カレッジ映像センター)のあゆみ

年度	名称	富山県の視聴覚教育活動関連記事等
映像を活用した生涯学習活動の振興をめざして		
S 63	富山県民カレッジ条例 富山県生涯学習カレッジ 視聴覚室 (所管: 県民カレッジ振興課) 富山県生涯学習カレッジ備付 教具教材使用規則に改正	<ul style="list-style-type: none"> 郷土学習教材映画「立山の主～ライチョウは語る～」を制作、全国コンクールで文部大臣を連続受賞。 
H 元	富山県生涯学習カレッジ 視聴覚ライブラリー	<ul style="list-style-type: none"> 郷土学習教材映画「富山のくすりやです」を制作、全国コンクールで初の3年連続文部大臣賞を受賞。 県民カレッジビデオ実技セミナーを開始。 NHK杯全国高等学校放送コンクールで富山女子短大附属高校が第1位を受賞。 第30回東海北陸放送教育研究大会を開催(上市町)。 郷土学習教材映画「ブリを待つ海」を制作、全国コンクールで文部大臣賞を受賞。 生涯学習をテーマに東海北陸地区視聴覚ライブラリー研究協議会を開催(高志会館)。
2		<ul style="list-style-type: none"> 第30回東海北陸放送教育研究大会を開催(上市町)。
3		<ul style="list-style-type: none"> 郷土学習教材映画「ブリを待つ海」を制作、全国コンクールで文部大臣賞を受賞。
4	所管: 県民カレッジ 映像センター課	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習をテーマに東海北陸地区視聴覚ライブラリー研究協議会を開催(高志会館)。
5	富山県生涯学習カレッジ 映像センター (所管: 県民カレッジ 映像センター課)	<ul style="list-style-type: none"> 生涯学習施設として全国初のハイビジョン学習室がオープン。ビデオ編集設備が完成。 ハイビジョンを活用した講座「美との出会い」を開講。 ニューメディアの教育利用研究「マルチメディア等の教育利用に関する開発研究」(文部省委嘱)を開始(～平成6年度)。
6		<ul style="list-style-type: none"> 全国生涯学習フェスティバル「まなびピアとやま」開催を機に「ふるさとビデオコンテスト」を開始。 
7		<ul style="list-style-type: none"> 映像ボランティア「学遊ビデオ・メイト」を結成。 ビデオブースを活用した自学自習型ビデオ視聴講座を開講。 郷土学習教材映画「水と産業～水をため水を生かす～」制作。全国コンクールで文部大臣賞。16ミリ映画制作を終了(全18作 文部大臣賞6回・優秀賞8回)。 
8		<ul style="list-style-type: none"> 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタで「おばあちゃんのとうふ」が初の優秀賞を受賞。 素材活用型郷土学習教材(ビデオCD)制作事業を開始(「下水のゆくえ」)。
10		<ul style="list-style-type: none"> 東海北陸地区教育メディア・生涯学習情報提供研究協議会を開催(教育文化会館)。 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタで「小京都に夢を曳く～城端曳山祭～」が優秀賞を受賞。 

映像を活用した文化・学習活動の支援をめざして

H11 富山県生涯学習カレッジ
富山県映像センター
 富山県生涯学習カレッジ
 備付教具教材使用規則を廃止
 富山県映像センター規則を制定(H12.1月)

12



13



14



15

16

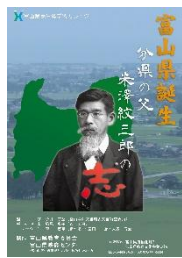
17



- ・ 全国ハイビジョン手づくりソフトフェスタで「立山賛歌」が初のグランプリを受賞。
- ・ 全国自作視聴覚教材コンクールで平村郷土学習会が民間グループ本県初の文部大臣賞を受賞。
- ・ 県優秀映像鑑賞推進事業「わくわくシアター」を開始。
- ・ 世界野生生物映像祭最終ノミネート以上の作品(ビデオ化)の管理・貸出を開始。
- ・ 貴重なとやまの映像保存「映像で綴る思いのとやま」事業を開始。
- ・ 素材活用型郷土学習教材「庄川と人々の暮らし」(DVD)を制作、全国自作視聴覚教材コンクールで優秀賞を受賞。
- ・ 映像工房をノンリニア化、ノンリニアビデオ編集講習会を開始。
- ・ 全国自作視聴覚教材コンクールで大平憲義氏の「回船問屋森家の建築美」が個人として本県初の文部大臣賞を受賞。
- ・ 映像利用、映像制作に関する相談が年間1,500件を突破。
- ・ 富山県学校視聴覚教育研究会が、幼・小・中で再出発。
- ・ 富山県工業教育フィルムライブラリーの貸出・管理業務を県映像センターに移管。
- ・ インターネットで動画を視聴、編集することができる「とやまデジタル映像ライブラリー」試験運用を開始。
- ・ 通信衛星教育情報システム「エルネット」を利用した「チャンネルとやま」放送を開始。
- ・ 全国自作視聴覚教材コンクールで、武脇孝弘氏の「壁の造形～竹内源三の世界～」が文部科学大臣賞を受賞。
- ・ 富山県視聴覚ライブラリー協議会が平成14年度末をもって閉会。
- ・ インターネットで動画を視聴・編集することができる「とやまデジタル映像ライブラリー」の本格運用を開始。
- ・ 全国自作視聴覚教材コンクールで、映像センター制作の素材活用型郷土学習教材「チューリップとともに-球根栽培に取り組む人々-」(DVD)が優秀賞を受賞。
- ・ 県民カレッジが、「全国視聴覚教育連盟創立50周年記念視聴覚教育特別功労者」表彰を受賞。
- ・ 富山県学校視聴覚教育研究会が平成15年末をもって休会。
- ・ 第2回全国地域映像コンクールで、ハイビジョン静止画ソフト「おわら幻想」が地域文化デジタル化推進協議会会長賞を受賞。
- ・ 学遊ビデオ・メイト創立10周年。
- ・ パソコン講座を廃止し、映像制作に特化して講座を展開。
- ・ ハイビジョン静止画ソフト「よみがえる勝興寺大伽藍～本堂修復の軌跡～」が第3回全国地域映像コンクールで総務大臣賞を受賞。
- ・ ハイビジョン対応液晶プロジェクターの設置やハイビジョンカメラ及びハイビジョン編集機の導入など、ハイビジョン化への対応を図る。
- ・ 「旬のとやま」のDVD化及び貸出を開始(H17.8月～)
- ・ 年度末をもって、通信衛星教育情報システム「エルネット」を利用した「チャンネルとやま」の放映を休止。
- ・ 地上波デジタル放送活用推進事業(文科省)及び農畜産における育成鑑定システム事業(総務省)研究に協力(共にH17～H19)。

H18 19	 	<ul style="list-style-type: none"> ・ノンリニア編集機2台及びハイビジョン対応デッキを導入。 ・郷土学習教材「布橋大灌頂～立山信仰と女人救済儀式～」が第4回全国地域映像コンクールでグランプリを受賞。 ・県内外機関での日常的上映により、「旬のとやま」等の映像活用が拡大。 ・ノンリニア編集機(ハイビジョン対応)4台を導入。
20		<ul style="list-style-type: none"> ・映像教材増加に伴い書架を増設。 ・郷土学習教材「ふるさと富山の偉人石黒信由～江戸時代に精密な地図を作る～」が第5回全国地域映像コンクールで総務大臣賞を受賞。 ・旬の映像等の利活用が進み、県内外の18機関で日常的に上映。 ・ケーブルテレビ(CATV)での映像利用が増加。 ・県民カレッジ開学20周年記念「視聴覚教材総合目録」を発行・配布。 ・県民カレッジ開学20周年。
21		<ul style="list-style-type: none"> ・映像工房をハイビジョン編集中心にレイアウトを変更。 ・県内を中心に、旬の映像の利活用が増加、利用機関が20カ所を超過。 ・ノンリニア編集機2台を更新(ハイビジョン対応)。 ・郷土学習教材「高岡物語 開町四百年の軌跡」が完成。 ・「社会に学ぶ『14歳の挑戦』」で、中学生を受け入れ開始。 ・郷土学習教材「天涯を護る～立山カルデラの砂防～」が完成。 ・「富山県の木造校舎シリーズ」(DVD)が完成。 ・ノンリニア編集機2台を更新(ハイビジョン対応)。 ・ハイビジョン学習室の機器(AVセクター・アンプ)を更新。 ・「14歳の挑戦」で中学生を受け入れ。 ・郷土学習教材制作にあたり、小学校・中学校・高等学校教員に協力員を依頼。
22		<ul style="list-style-type: none"> ・16mmフィルムのDVD化を推進。 ・「土曜シアター」を開始。 ・「とやまデジタル映像ライブラリー」を更新。 ・ノンリニア編集機2台を更新。 ・プロジェクター1台を更新。 ・「旬の映像」(年間DVD5枚)制作5周年。 ・郷土学習教材「越中文学散歩～ふるさとの作家が綴るとやま～」が第8回全国地域映像コンクールでグランプリを受賞。
23		<ul style="list-style-type: none"> ・公民館関係者を対象に地域の伝統行事や自然、文化を映像に記録し保存することを目的とした「ふるさと映像制作支援講座」を開催。 ・ノンリニア編集機3台を更新。 ・郷土学習教材「越中を拓く～椎名道三と十二貫野用水～」を制作、第9回全国地域映像コンクールで審査員特別賞を受賞。
24		<ul style="list-style-type: none"> ・高志の国文学館との連携事業「映像で楽しむ高志の国文学上映会」を開催。 ・第16回視聴覚教育総合全国大会第63回放送教育研究会全国大会合同大会のテーマ別研究交流会で提案発表。 ・ノンリニア編集機2台を更新。 ・新規プロジェクター1台を追加。 ・郷土学習教材「越中万葉憧憬～大伴家持、越中を詠む～」を制作。
25		<ul style="list-style-type: none"> ・スタジオ・調整室の機材を精選し、撮影・録音に適した環境に整備。 ・「高志の国文学館企画展連携上映会」を開始。 ・「ふるさと土曜シアター」を「わくわく土曜シアター」と改称し上映回数を毎月第2・第4土曜日(午前・午後の2回上映)に拡充。 ・郷土学習教材「棟方志功と富山の人々」を制作、第11回全国地域映像コンクールで奨励賞を受賞。

H26

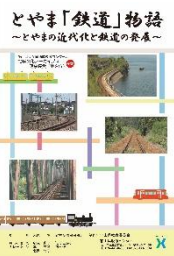


27

とやまの薬が生んだ信頼の絆
～とやま売薬物語～



28



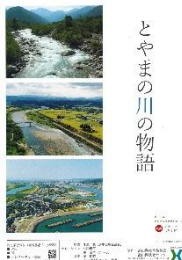
29



30

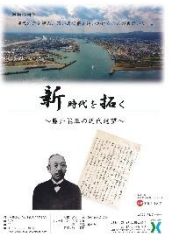


31



R 元





2



3



- ・ハイビジョン学習室のプロジェクターを修理（映写時の色のにじみを解消）。
- ・テレビ放送講座（昭和63年～平成17年）で放送した番組をDVD化。
- ・ノンリニア編集機1台を更新。
- ・郷土学習教材「富山県誕生 分県の父 米澤紋三郎の志」を制作、第12回全国地域映像コンクールで審査員特別賞を受賞。
- ・「旬の映像」北陸新幹線富山駅工事の進捗状況、布橋灌頂会他を制作。
- ・「高志の国文学館企画展連携上映会」を実施。
- ・ノンリニア編集機1台を更新。
- ・ハイビジョンの高精細ビデオカメラを導入。
- ・中、高校生を対象とした「ジュニア映像制作講座」を実施。
- ・郷土学習教材「とやまの薬が生んだ信頼の絆 とやま売薬物語」を制作、第13回全国地域映像コンクールで優秀賞を受賞。
- ・「旬の映像」制作10周年。累計70本を超える映像作品（DVD）を制作、配信。
- ・「高志の国文学館連携上映会」を実施（企画展、ギャラリー展）。
- ・ノンリニア編集機1台、プロジェクター1台を更新。
- ・後期に新講座「視覚デザイン講座～ひと目で伝わるデザインの基本～」を実施。
- ・郷土学習教材「とやま『鉄道』物語」～とやまの近代化と鉄道の発展～」を制作、第14回全国地域映像コンクールで地域文化アーカイブス理事長賞受賞。
- ・後期に新講座「映像作品ナレーション講座～わかりやすく、聞きやすい、映像ナレーションの極意～」を実施。
- ・16ミリフィルム上映会を実施。
- ・郷土学習教材「富山湾 美しい湾を未来につなぐ」を制作、第15回全国地域映像コンクールで優秀賞を受賞。
- ・とやま映像コンクールは平成29年度末をもって廃止。
- ・とやま映像デジタル映像ライブラリーサーバーシステム更新。mpeg4対応により、スマートフォンで閲覧が可能になる。
- ・郷土学習教材「とやまの曳山“世界の宝”を守り続ける」を制作、第16回全国地域映像コンクールでグランプリを受賞。
- ・教職員研修は平成30年度末をもって廃止。
- ・わくわく土曜シアターを8月より富山駅前C i Cで開催。9月より月1回再上映をハイビジョン学習室にて開催。
- ・郷土学習教材「とやまの川の物語」を制作、第17回全国地域映像コンクールでグランプリを受賞。
- ・後期に「1から始める“動画”づくり講座」を実施。
- ・とやまデジタル映像ライブラリーHPをリニューアル。
- ・ハイビジョン学習室に140インチスクリーンと高輝度プロジェクターを更新。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため前期講座及び上映会を中止。
- ・自宅学習が円滑にできるよう、特設サイト「おうちでふるさと学習」「おうちでお祭り」「おうちで花めぐり」を開設。（「おうちでシリーズ」開始）
- ・わくわく土曜シアターを9月より月2回ハイビジョン学習室にて実施。
- ・郷土学習教材「新時代を拓く～藤井能三の近代遠望～」を制作、第18回全国地域映像コンクールで審査員特別賞を受賞。
- ・令和2年度から開始した特設サイトを、「おうちで」シリーズとして継続し、「おうちで名勝めぐり」を追加配信。
- ・富山県映像センター公式Twitter・Youtubeチャンネル運用開始。YoutubeチャンネルではVR動画等を配信。
- ・新講座「シニアスマートフォン撮影セミナー」（前期・後期）「シニアスマートフォン編集セミナー」（後期）を実施。
- ・郷土学習教材「水の王国とやま 『命をつなぐ水』を未来へ」を制作、令和4年度全国自作視聴覚教材コンクール優秀賞を受賞。

R4		<ul style="list-style-type: none"> ・「わくわく土曜シアター」を「わくわくシアター」と改称し、土曜日に加え、平日にも実施。 ・「おうちで」シリーズとして、「おうちで空からふるさと散歩」「おうちで川と海めぐり」「おうちでうまいもんめぐり」「おうちで富山の情景[色]」を追加配信。 ・スタジオをリニューアルし、eラーニング研修支援事業開始。 ・郷土学習教材「とやまの橋～人々の願い・記憶のメモリアル～」を制作。令和5年度全国自作視聴覚教材コンクール優秀賞を受賞。 ・夏期と冬期のおやこシアターをそれぞれ4回ずつ実施。 ・「おうちで」シリーズとして「おうちで富山の情景[色]」を追加配信。
5		<ul style="list-style-type: none"> ・郷土学習教材「越中横綱伝 梅ヶ谷と太刀山」を制作、令和6年度全国自作視聴覚教材コンクール優秀賞を受賞。
6		<ul style="list-style-type: none"> ・小学校社会科副読本『きょう土のすがた』の学習内容に対応した地域映像クリップ集の配信開始。 ・郷土学習教材「昆布ロード 富山人のあゆみ」を制作、令和7年度全国自作視聴覚教材コンクール最優秀賞【文部科学大臣賞】を受賞。
7		<ul style="list-style-type: none"> ・戦後80年事業としてGHQ提供フィルム(ナトコ映画)をDVD化、一般貸出開始。 ・後期に新講座「映像制作の現場から学ぶ講座」を実施。 ・「16mm映写機操作技術認定講習」を映像センター講座として実施。 ・郷土学習教材「技と心をつないで 越中福岡の菅笠」を制作。

資料3 テレビ放送講座過去の作品一覧

昭和63年度	「立山、清浄への旅立ち」…立山曼荼羅を通して、立山信仰とその文化を考察
平成元年度	「富山湾、その神秘とロマン」…富山湾の謎に迫りながら、富山湾の自然や文化を考察 「健康くすり学」…くすりとからだのいい関係
平成2年度	「悠久を流れる—とやまの河川—」…県内河川の自然や文化を探りながら、その現在と未来を展望 「健康生活学」
平成3年度	「道を辿る—街道の歴史と文化—」…道が果たした社会への役割などを考え、豊かな未来を展望 「続 健康生活学」
平成4年度	「風をみる 風をさく」…風の千変万化を気象、歴史、習慣、信仰などから迫り、未来を展望 「健康生活学 第三部」
平成5年度	「とやまに祭りありて」…祭の姿をさまざまな角度からとらえ、その由来や伝承文化を追求 「健康生活学 IV からだの不思議 健康のもとと病気のもと」
平成6年度	「とやま 食の風土記」…伝統の味の継承を願って、富山の食文化を育んだ風土や社会を考察 「健康生活学 V からだの不思議 いろいろな器官」
平成7年度	「豊饒の海に生きる—富山湾の魚—」…多彩な漁法の知恵を探り、海への理解と自然との共生を追求 「健康生活学 VI 家庭の医学」
平成8年度	「川と生きる—富山の川魚漁—」…様々な漁法の中に生きる歴史や文化を通し、川の重要性を考察
平成9年度	「山に暮らす—森の精・人の営み—」…身近な里山をテーマに、自然、山の営み、山村文化を考察
平成10年度	「風雪を刻んで—富山の住まいと暮らし—」…富山の文化、風土、建築、街づくりを考察
平成11年度	「技に生きる—富山の手仕事—」…職人たちの作る「暮らしの用具」をテーマに、先人の技と心を考察
平成12年度	「ふるさとに謡ありて—富山の民謡—」 …富山県民謡の歴史や文化を生業、信仰、方言、伝承等の観点で考察
平成13年度	「越中売薬のこころと知恵」 …本草学、売薬の歴史、文化・伝統等について考察
平成14年度	「言葉の彼方に—作家が語る富山の文学—」 …大岡信氏ら多彩なゲストを迎え、文学を通して富山の魅力を考察
平成15年度	「遥かなる記憶～考古学が語る富山～」 …考古学の魅力を語るとともに、ふるさと富山のルーツを考察
平成16年度	「山河を越えて～歴史と文化のクロスロード・富山」 …他地域の人々との交流を通して築いてきた歴史と文化について考察
平成17年度	「大地からの贈り物～富山の自然・ヒト・共生」 …富山に生きる動物をとりあげ、人間との共生の道を探るとともに、これからの自然保護について考察

※県教育文化会館3F、富山県映像センターでDVDの貸出を行っています。

資料4 主な講座の受講者数の推移

No	年 度		令和 3		令和 4		令和 5		令和 6		令和 7	
	講 座 名		講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数	講座数	受講者数
1	夏季講座・特別講座※1		2	312	1	479	1	484	1	582	1	576
2	人生 100 年時代 生き方講座		2	440	3	689						
3	ウェルビーイング実現講座 (大型) ※2						3	1,115	2	695		
4	ウェルビーイング実現講座 (通年)						4	139	4	149		
5	みらい創造講座										2	847
6	こどもまんなか教室										8	168
7	とやま 新時代講座	とやま縦断コース	2	109								
		とやまコミュニティ深化コース 探究	17	470								
		とやまコミュニティ深化コース 入門	10	205								
		ビジュアル学習コース	2	45								
8	つながる学び わくわく講座	つながる体験コース			8	164	8	197	8	175	8	204
		つながるふるさと学びコース (地区単独型)			19	523	19	617	17	635	17	547
		つながるふるさと学びコース (地区連携型)			1	55	1	75	1	55	1	153
9	人生 100 年時代 特別講座		4	117	4	135						
10	共学講座		122	593	124	599	120	620	118	627	108	519
11	映像センター講座		4	50	4	56	4	67	4	57	6	50
12	県民カレッジ自遊塾		80	938	76	917	83	1,138	81	1,117	86	1,146
13	学習団体講座		4	297	5	335	5	448	5	443	5	471
小 計			249	3,576	245	3,952	248	4,900	241	4,535	242	4,681
14	連携講座	実施機関数	18		19		18		17		16	
		講座数・受講者数	112	6,430	117	6,828	131	6,464	104	6,272	97	6,082
合 計			361	10,006	362	10,780	379	11,364	345	10,807	339	10,763

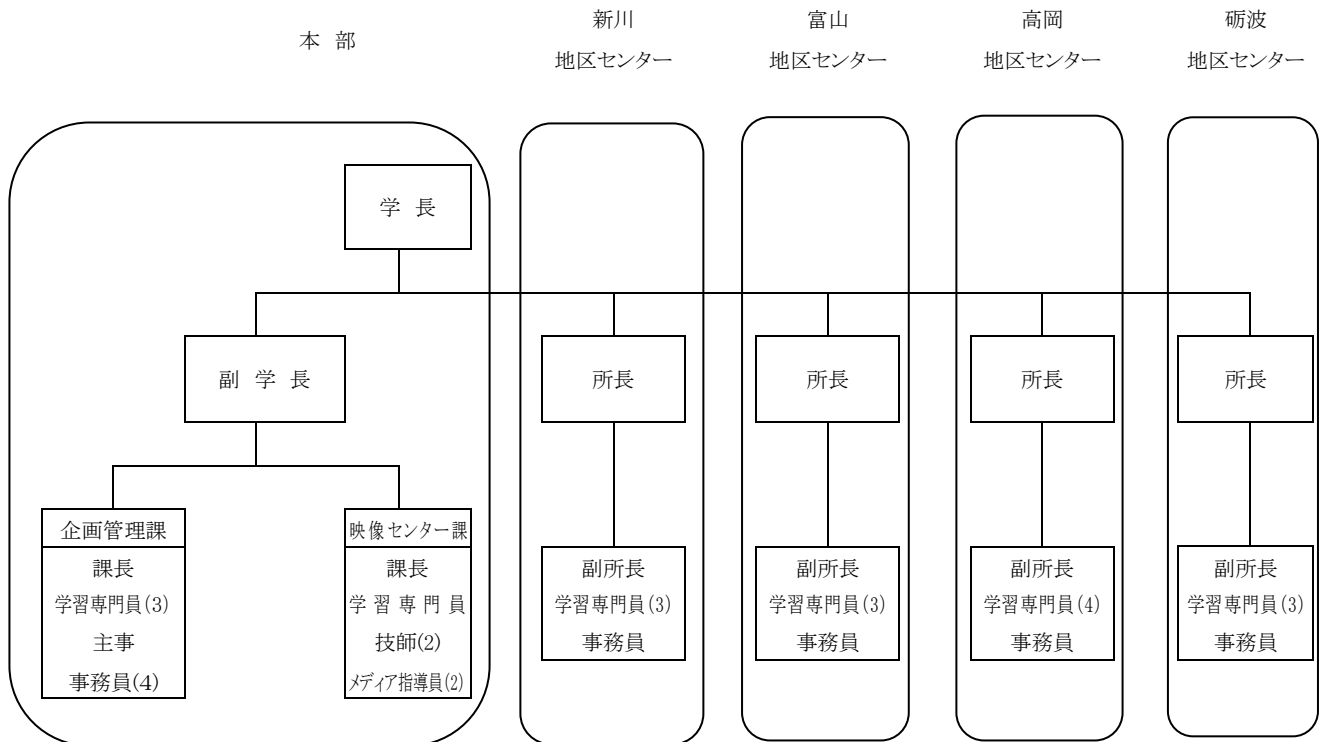
※1 特別講座は、令和3年度「教養講座特別講演」。

※2 ウェルビーイング実現講座は、令和5年度「知事特別講演」を含む。

資料5 令和7年度 連携講座 実施状況

	実施機関数	実施講座数	総定員 (人)
高等 教育 機 関	4	58	4,094
公的機関 (国・県)	7	19	1,134
市町村・市町村機関	4	19	824
民 間	1	1	30
合 計	16	97	6,082
高等 教育 機 関	富山大学・富山県立大学・高岡法科大学・富山短期大学		
公的機関 (国・県)	富山県公文書館、富山県南米協会、社会福祉法人富山県社会福祉協議会、高志の国文学館、公益財団法人とやま国際センター、富山県埋蔵文化財センター、日本海学推進機構 (富山県国際課内)		
市町村・市町村機関	(公財) 砺波市花と緑と文化の財団富山県花総合センター、高岡市万葉歴史館、滑川市中央公民館、高岡市立福岡中央公民館		
民 間	県民カレッジ友の会「雷鳥会」		

資料6 県民カレッジのしくみ



※()は人数、()が付記されていない場合は1名

[業務内容]

◆本部企画管理課および地区センター

- ・企画・管理・庶務・会計
- ・学習情報の収集・提供 (ネットワークシステム)
- ・学習相談・ボランティア相談
- ・調査・研究
- ・講座の企画・開設・委託
- ・連携講座
- ・学習団体の育成
- ・学習活動の奨励・援助
- ・学遊祭の企画・運営
- ・叢書の企画・編集・発行

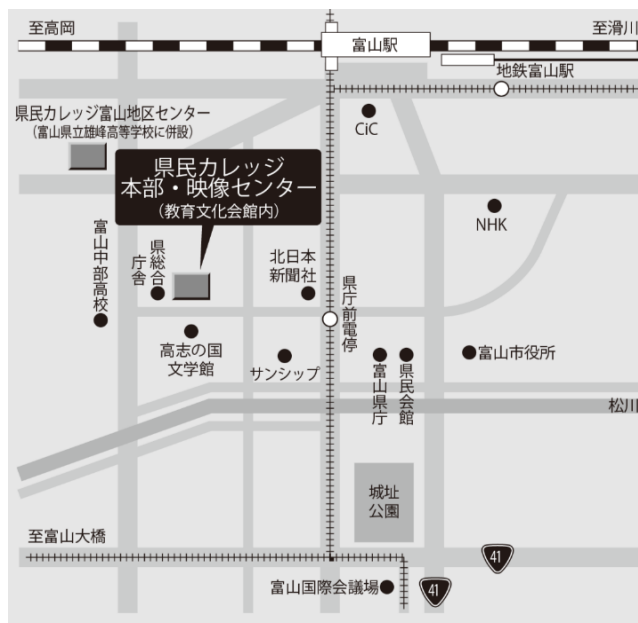
◆本部映像センター

- ・ふるさととやまの映像制作
- ・優秀映像鑑賞推進
- ・映像活用県民支援
- ・映像センター講座の開設

■ 富山県教育文化会館



■ 交通案内



富山駅より徒歩 15 分・車5分
 富山空港より車20分
 北陸自動車道富山インターより車15分

■ 利用時間等

本部

	利用時間	休所日
月、水～土曜	9:00～19:00	火曜
日曜、祝日、振替休日	9:00～17:00	祝日・振替休日の翌日 年末年始

創造のよろこび



富山県民生涯学習カレッジ 本部

〒930-0096 富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内

(企画管理課) TEL. 076-441-8401 FAX. 076-441-6157

(映像センター課) TEL. 076-441-8455 FAX. 076-441-5334

<https://www.tkc.pref.toyama.jp/toyama/>

学遊とやま 2026年版

令和8年

■編集発行 富山県民生涯学習カレッジ
富山市舟橋北町7-1（富山県教育文化会館内）
